

2. 研修カリキュラム

1) 講義科目

科目	学習内容	時間	方法	
訪問看護概論	1. 保健医療福祉をめぐる社会的動向と訪問看護の変遷 2. 訪問看護の役割・機能・特性 3. 訪問看護をめぐる諸制度 4. 訪問看護ステーションの開設・運営の基礎 5. 訪問看護の質の評価 6. 訪問看護で起こり得る倫理的課題と対応	1 5	講義	
在宅ケアシステム論	1. 地域包括ケアシステム 2. 関係機関・関係職種との機能及び役割と多職種連携 3. ケアマネジメント 4. 在宅移行支援	7. 5	講義	
リスクマネジメント論	1. リスクマネジメント 2. 感染管理 3. 災害対応	1 5	講義 演習	
訪問看護対象論	1. 訪問看護の対象 2. 在宅療養者の特性 3. 在宅療養者を支える家族の特性 4. 在宅療養者及び家族を取り巻く地域	7. 5	講義	
訪問看護展開論	1. 訪問看護過程 2. 訪問看護の実際 3. 訪問看護の記録	1 5	講義 演習	
訪問看護技術 展開のための知識・技術	療養生活の支援	1. 在宅療養の環境 2. 在宅療養における日常生活行動支援	1 5	講義 演習
	コミュニケーション技術 (面接技術)	1. コミュニケーションの概要 2. 在宅療養における面接技術の基本 3. 面接の実際	7. 5	講義 演習
	フィジカルアセスメント	1. 問診のポイント 2. 視診・触診・打診・聴診によるアセスメント 3. バイタルサインによる病態別・病期別・年齢別アセスメント 4. 症状による呼吸・循環・神経系のアセスメント 5. バイタルサイン測定及び視診・触診・打診・聴診の技術習得	7. 5	講義 演習
	リハビリテーション看護	1. リハビリテーションの概念及び基本的アプローチ 2. リハビリテーションの実際 3. 福祉用具の活用及び住宅改修	7. 5	講義 演習
	服薬管理	1. 薬物の基本的知識 2. 在宅療養における服薬支援 3. 関係職種との連携	7. 5	講義 演習
	経管栄養法、中心静脈栄養法、末梢輸液管理	1. 経管栄養法 2. 中心静脈栄養法 3. 末梢輸液管理	7. 5	講義 演習
スキンケアと褥瘡ケア	1. スキンケアの基本 2. 在宅で罹りやすい皮膚疾患とケア 3. 褥瘡予防と褥瘡ケア 4. その他の創傷ケア	7. 5	講義 演習	

医療処置別の知識・技術	ストーマケア	1. ストーマの定義と種類 2. ストーマケア	7.5	講義 演習
	間欠自己導尿、膀胱留置カテーテル、腹膜透析	1. 間欠自己導尿 2. 膀胱留置カテーテル 3. 腹膜透析 4. 在宅血液透析	7.5	講義
	呼吸管理	1. 在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法を要さない呼吸管理 2. 在宅酸素療法 3. 在宅人工呼吸療法 4. 非侵襲的人工呼吸療法：NPPV 5. 侵襲的人工呼吸療法：IPPV 6. 呼吸リハビリテーション 7. 関係職種等との連携及び社会資源の活用	7.5	講義 演習
対象別の知識・技術	急変時の看護	1. 急変時の対応体制 2. 急変の特徴と対応	7.5	講義 演習
	がん看護	1. がんの理解 2. がん看護の実際 3. 家族への支援 4. がんの療養者を支援する社会資源	7.5	講義
	認知症の人の看護	1. 認知症の理解 2. 認知症の人への支援 3. 家族への支援 4. 社会資源の理解	7.5	講義
	精神障がい者の看護	1. 精神障がい者の理解 2. 精神障がい者の看護の要点 3. 家族への支援 4. 精神障がい者の保健医療福祉に関連する諸制度と社会資源	7.5	講義
	難病の人の看護	1. 難病の理解 2. 難病の人の看護の実際 3. 家族への支援 4. 療養環境の整備と社会資源の活用	7.5	講義
	疾患や障がいのある小児の看護	1. 在宅ケアを必要とする小児の特徴 2. 在宅ケアを必要とする小児に対する基礎的な看護 3. 家族への支援 4. 社会資源の活用およびネットワークづくり	7.5	講義
	エンドオブライフケア	1. エンドオブライフケアの特徴 2. エンドオブライフケアにおける在宅療養者の支援 3. 家族への支援 4. チームアプローチ	7.5	講義
実習	訪問看護の見学・実践（同行訪問）により、訪問看護の実際を知る。	9	見学 実践・ 記録	
演習（老健）	老人保健施設やデイケアでの役割や機能知り、訪問看護ステーションとの連携の在り方を考えることが出来る	8	演習 記録	
その他	開講式、オリエンテーション、閉講式、演習等	17		

計 229時間